

(2015.05.26)

人口ビジョン

中期展望 (2040年)

○定住人口の維持

2040年の社人研推計に
約10,000人の上乗せ

・2040年人口見通し57,000人
(社人研推計 46,562人)

◆人口置換水準の回復 (+3,000人)

◆転入・転出人口の均衡 (+2,000人)
※道都札幌と石狩の機能分担により、ライフステージに応じた市民の循環

◆札幌圏との連携によるダム機能向上 (+2,500人)
※道内各地から首都圏等に転出していた若手人材を札幌圏で受け止める

◆新産業創出等による移住・定住誘導 (+2,500人)
※エネルギー、ICT、医療分野等の先端産業誘致、高等教育機関、研究施設の誘致

○交流人口の拡大

年間200万人の交流人口創出

・まちの魅力 (観光、新産業、雇用)
・移住誘導
・近隣市町村との連携

長期展望 (2060年)

人と経済、歴史
の好循環

30年後の
「まちの持続」

総合戦略 (2015(H27)～2019(H31)の5か年)

都市像

推進方策

戦 略 目 標 ◆数値目標

主な重要業績評価指標 (KPI)

具体的な施策

絆

環境

創造

石狩PRIDE

市民像

みんなで作る、こんなまち いしかり
(総計策定作業における市民意見の検討)

住み続けたい、住みたいと思う、魅力あるまちであり続ける

協働連携 成長
まちづくりの進め方

動かす仕組み
計画の進化 市民による地域経営 行政経営 市民目標の

「新・現役世代」が活躍する
知識や技能、経験を有する「新・現役世代」が地方を元気にする中核として、生涯健康で活躍するまちを目指す。

「子育て力」をさらに発揮する
まち全体で子育て家庭や子どもの育ちを支え、子どもが安全かつ安心して学び、健やかに育つまちを目指す。

「地域資源」からモノやしごとを創る
石狩の資源や魅力、石狩湾新港地域のポテンシャルから、新たな産業やブランドを創出し、地域経済が活性化し、まちを目指す。

「いろんな顔」をつくる
まちの魅力や地域の特色を磨き上げ、まちの自慢や誇りとなる「顔」があるまちを目指します。

誇りとなる人や文化を育てる
石狩の新しい文化を醸成し、人がまちの誇りになる循環の仕組みをつくる。新しい石狩人の流れを作る。

時代にあった地域として持続する
長期的視点で安心・安全な生活環境を持続するため、公共施設の適正配置、維持管理を推進する。

地場特産品販売額 63,147千円

高校生就職内定率 90%以上

あそびーち石狩入込客数 10%UP

地域名産品の開発 10件

UJJターン就農 2人

ソフトボールフォーラム参加者数 200人

市内における空き家活用件数 10件

○
○
○
○
○

○
○
○
○
○

○漢方生薬生産プロジェクト
○石狩ブランド情報発信事業 (先行)
○若者人材育成・職場定着支援事業 (先行)
○内航船誘致・地域商社設立推進プロジェクト
○植物工場プロジェクト
○浜益温泉水利活用事業
○超電導CITY構想プロジェクト

○海辺の魅力創造推進事業 (先行)
○厚田多機能拠点形成ビジョン策定事業 (先行)
○新規就農者施設園芸普及促進事業 (先行)
○厚田複合施設建設プロジェクト
○洋上風力発電プロジェクト
○浜益地域観光促進事業

○ソフトボールアスリート育成事業 (先行)
○厚田ふるさとの森
○地域文化発信事業
○若者の地縁づくり事業
○

○空き家活用促進事業 (先行)
○G空間情報とICTの連携活用 (ICTまち・ひと・しごと創生事業)
○札幌市手稲区・北区との研究会発足
○浜益区の新公共交通導入
○市街地におけるバスロケーションシステムの導入